

私はスペイン語を話すことができるため、彼女の母語であるスペイン語で説明しわかるまで教えていました。さらに、学校での友達の悩みを聞いてあげることや、自分も外国人で日本の学校を経験してきたことを踏まえた上でのアドバイスをしたりもしていました。学習のみではなく、彼女の悩みを聴く時間を毎回とりメンタル面や心のサポートも行っていました。

彼女は当初、自分が外国人だから人間関係がうまくいかない、勉強ができないと自分のルーツをマイナスにとらえてしまい自分自身のアイデンティティに自信が持てずになりました。しかし、学習支援を行っていくにつれ少しずつ変わっていききました。私の姿を見て同じペルー人の人が大学に入学することができるということが彼女の励みと希望になり、同じように大学に行きたい、勉強を頑張りたいと思うようになりました。また、彼女が学校を休む回数も減りました。

彼女は学習が抜けている部分の影響もあることからテストの点数が良くなく、学力的に高校進学は厳しい面がありましたが、学習支援での復習や彼女自身の勉強への意欲が高まったこと、努力して勉学に励んだことの甲斐があり、定時制高校に入学することができました。

中学校になじめず学校が嫌い、高校進学もあきらめていた彼女が高校に入学できたとき自分のことかのように嬉しかったことを覚えています。

3年間の学習支援を通し、学習支援の重要性や寄り添ってサポートしていくこと、ロールモデルを示すことが大切だとわかりました。

おわりに

日本語がわからないことから学校の勉強についていけなくなる外国にルーツのある子どもたちは、学校に行かなくなり、家に閉じこもってしまう場合があります。最悪の場合、不就学になってしまいます。そのような子供たちは、「自分はできない人間なのだ、外国人だから日本語ができず進学ができないのだ」と思ってしまうことや、将来に希望が持てないことや、夢を持てないことがあります。

自分に外国のルーツがあるから、言葉や文化に違いがあるからできないのだと思うのではなく、このような学習支援を利用することや努力すれば日本語もわかるようになり、学習にもついていき日本社会でもやっていける、さらに自分のルーツはマイナスにとらえるのではなく役に立つことがたくさんある、と少しでも多くの子供たちが思うようになるのが私の願いです。

半年の集中支援

大学院地域創生科学研究科1年 于 稚楓 (ウチフウ)

去年の10月から今年の2月まで、中学3年の中国人生徒A君の日本語勉強を手伝いました。最初にA君と会った時、中学校の会議室で、私は中国語で「私も日本語の勉強をしています。困ったことがあれば教えて下さい」と言いました。A君も「ありがとう、わかりました」と中国語で答えてくれました。

初めての勉強では、私たち二人は授業から離れて自習室で勉強しました。授業中に難しいことがあるかどうかを聞いたところ、中国の数学、英語などの授業内容は日本の同学年のコースよりはるかに難しいとのことでした。日本の中学校3年生の内容は中国の中学1、2年生の時とほぼ同じと言います。最も困難なことは、日本語だらけの国語と社会、そして日本語が分からないために完成させられない問題とのことでした。

A君から話を聞くと、日本に来る前には五十音の勉強だけをしていたということでした。日本に来てからの日本語の勉強については、基本的に日本に居住しているおばあちゃんが教えてくれていました。私は日本語でA君と簡単な会話をしようとしたのですが、彼はほとんど簡単な単語しか答えられず、文にはなりません。私はA君と一緒に彼の教室に入って、支援することもしました。学生に本を読ませて考えさせるコーナーの中で、先生はA君のそばに来て彼が理解できているかどうか、聞いてきました。

授業後、男子生徒たちはA君と遊んだり、追いかけてをしたり、トランプをしたりしていました。ただ、A君は日本語をほとんど話さず、クラスメートとの会話は簡単な英語で行われています。私は、簡単な会話や日本語を知っているのに、どうして日本語で話したくないのですか、と彼に聞いたことがあります。A君は発音が変なので他人に知られて直されることが恐ろしくて嫌だと答えました。これは彼のこの年齢のプライドに関わっていると思いました。

その後、私は国語の教科書の中から、日常生活でよく使われる文法を出来るだけ選んで勉強を行なうようにしました。文章を作る際にも、日常生活における文脈をできるだけ意識しました。そして、日本語の文を聞いた後、聞くだけではなく、その言葉をノートに記録し、スムーズに読まなければならないということを目指しました。日本の同級生や先生と日本語を使って交流することを、彼の目標としました。

秋休みの後、彼は休み中にクラスメートとlineでチャットしていたと教えてくれました。クラスメイトは「荒野行動」と

いうスマホゲームを招待しましたが、A君はこのゲームが上手で、いつもチームを勝利に導いていました。このことが原因でA君は男子の間で人気者になりました。そして、私を喜ばせる変化が起こりました。授業間の休みの時、彼は私に中国語で話すことが少なくなり、もっと多くの時間をクラスメートと一緒に遊ぶことに使いました。

12月中旬、受験が近づいてきました。A君が目標としている学校は公立の全日制高校です。私たちの勉強は面接の練習に多くの時間を使うようになりました。彼は面接の時に、わからないことを聞かれるのではないかと心配している様子です。例えば、「好きな映画を紹介してください」と聞かれると彼は分かるのですが、「最近見た映画の中から、好きなものを選んで紹介してください」と聞かれると、彼はなかなか理解できないのです。そこで私たちは可能性のある問題をすべて書いて、勉強しました。

2月13日A君から希望校に合格したというメッセージが届きました。私はとても嬉しかったです。彼は慣れない環境のなかで、日本語の勉強に対してずっとポジティブな気持ちを持ってきました。私はその彼に少し感動しました。

実はA君と一緒に勉強している間、面白い裏話がたくさんあります。5ヶ月同じ人と一緒に勉強するのは、なかなか難しいことだと思います。この思い出は、きっと私の人生の中で貴重な経験の1つになります。

中学3年進級時に来日した生徒の高校進学を見守って

那須塩原市立三島中学校 教頭 俵藤 秀之

宇都宮大学学生ボランティアとの交流の始まりは、「多言語による進学ガイダンス」開催についての案内からでした。9月2日に田巻先生が本校に説明に訪れた際、本校に在学中の中国籍の二人の生徒への支援についての話をしたときに、学生ボランティアの話をいただきました。早速、その話に飛びつき2名の中国人留学生の支援が実現しました。

二人の留学生は週に1日、宇都宮からわざわざ本校まで出向いてくれました。二人の丁寧なサポートは生徒にとって大変有意義なもので、彼らは毎週留学生の訪問を心待ちにするようになりました。

特に、県立の進学高校を希望していた3年生のU君にとって、留学生ウさんとの出会いはまさに奇跡の出会いでした。中学3年進級時に来日した彼は、まったく初めての日本でした。彼自身も家族のサポートを受けながら一生懸命学習に取り組み、学力も向上していきましたが、不慣れな日本語や進学についての各種手続きについての不安

はぬぐえませんでした。本校でも、学区内にある小学校の日本語指導教室へ通級できるように手配するなどの支援を行ってきましたが、受験期を控え、より効果的な支援を模索していた最中でした。ウさんの支援は彼の日本語指導だけでなく、授業に入ってから学習補助、進路選択への的確なアドバイス、そして、日本での生活に適應するための様々な助言まで非常に素晴らしいものでした。以下は、実際に支援を受けたU君と学級担任のコメントです。

◆U君(三島中卒・県立全日制高校1年)

去年の9月から、同じ中国から来た留学生のウさんが中学校に毎週1日来て、日本語を教えてくださいました。今年の2月まで毎週来てくれました。この期間、私たちは、一緒に話をしたり、笑ったりしました。私の日本語のレベルはとても向上しました。彼女のサポートのおかげで、私は希望していた高校に合格することができました。私は、ウさんにサポートしてもらったことに感謝しています。

◆学級担任から

昨年4月に来日し、初めての日本での生活、初めての日本の学校、大きな不安があったと思います。日々の学校生活、また修学旅行や体育祭などの学校行事を通して、新しいクラスメイトと楽しそうに話をする場面は徐々に増えていきました。しかし、日本語を理解するのが難しく、うまくコミュニケーションがとれない様子でした。

そんな中、9月からウさんが毎週1回来てくれたことで、U君の笑顔も増え、授業に対しても積極的になってきたと感じました。日本語を教えてくれただけでなく、母国語で話ができる安心感、授業のサポート、悩み相談など、U君の大きな支えになりました。

知らない国で勉強する外国人中学生にとって、同じ国からの留学生のサポートは大きな支えになりました。大変感謝しています。

さて、二人の留学生は、中国籍の生徒への支援のために積極的に教室に入って授業のサポートをしたり、一緒に給食を食べたりしてくれました。教室に、他国の大学生がいることに対して、初めは戸惑っていた生徒たちも次第に慣れて、知らず知らずのうちに異文化交流を体験し、自分と違う価値観や文化に触れることができたように思います。グローバル化が叫ばれる現在、このことも、本校生徒にとって大変貴重な交流になったと思います。

また、留学生ではありませんが、他にも地元の大学生に数学の授業のサポートに入ってもらいました。夢の実現を